

肝炎ウイルスQ&A

よくあるご質問にお答えします。

■ 肝がんになるとどうなりますか？

治療しても再発することが多く、入院を繰り返し通常の生活が難しくなります。

■ どんな治療法があるのですか？

最近では1日1~2回服用する飲み薬のみで治療することが主流になりました。従来のインターフェロンはほとんど使われなくなりました。

■ 薬の効果はどれくらいですか？

初めて治療する人の場合は、95%以上の人の身体からC型肝炎ウイルスが消えます。

■ 治療費はどれくらいですか？

治療費助成制度があるため、自己負担額はひと月あたり10,000円または20,000円です。(世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額によります)

■ 仕事や日常生活に影響しませんか？

入院して仕事を休んだり、日常生活に影響するようなことはほとんどありません。また、治療中は禁酒すること以外、とくに生活を変える必要はありません。

*病状によっては入院を勧められる場合もあります。

■ どの病院へ行けばいいですか？

かかりつけ医から提案します。以下から探すこともできます。
<https://ganportal-saga.jp/>



■ 副作用はありませんか？

副作用はほとんどありません。今まで副作用を心配してためらっていた方も、安心して治療を受けられます。

■ 高齢でも治療できますか？

身体への負担が少ない薬があります。ご高齢でも、肝機能の数値が正常でも、必要と判断されれば、治療をお勧めします。

■ 治療期間は？

2ヵ月または3ヵ月です。薬や病状によって異なります。

■ 通院の頻度は？

飲み薬の服用中は、原則として2週に1回通院し、必要に応じて採血などを行いません。



今こそ、たたけ！ 肝炎ウイルス



(画像はイメージです)

入院しないで肝炎ウイルスをたたき飲み薬も、できました。

C型肝炎ウイルスを放置しておくと、
肝がんに進む可能性があります。

肝機能の数値が基準内でも、肝がんに進んでいることがあります。

佐賀県の肝臓相談窓口にお電話を 月~金(祝日除く) 10:00~16:00

0952-34-3731

佐賀大学
医学部附属病院
肝疾患センター

佐賀県の肝臓相談窓口にお電話を 月~金(祝日除く) 10:00~16:00

0952-34-3731

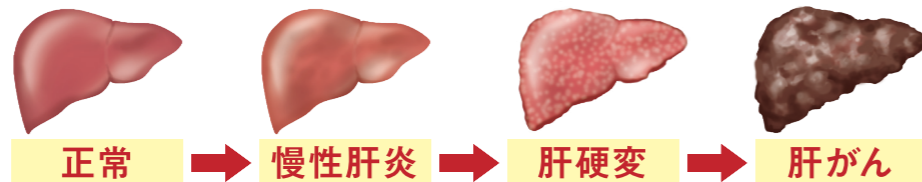
佐賀大学
医学部附属病院
肝疾患センター

C型肝炎ウイルスを2~3ヵ月でたたく飲み薬もできました。

肝機能の数値が基準内でも、 肝炎が進行してるかもしれません。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、肝炎が進行していても自覚症状がないことが珍しくありません。また、高齢になると病状の進行が早くなります。

肝炎ウイルスから
発症する病気



場合によっては、慢性肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

放置して肝がんに進むと、再発のため、 入退院を繰り返すことになります。

肝がんは完治が難しいがんです。早期に発見して治療して何年たっても、がん再発の危険があります。(他の多くのがんは、治療後5年再発しなければ、完治とみなされます)

普通の生活をしながら、 肝炎ウイルスをたたけます。

近年は飲み薬だけでC型肝炎ウイルスを消せるようになりました。入院の必要もないため、仕事を休むことなく治療できます。ご高齢の方でも安心して治療が可能です。

* 病状によっては、入院して治療を受けることがあります。

効果は
95%以上
(初めて治療する方)

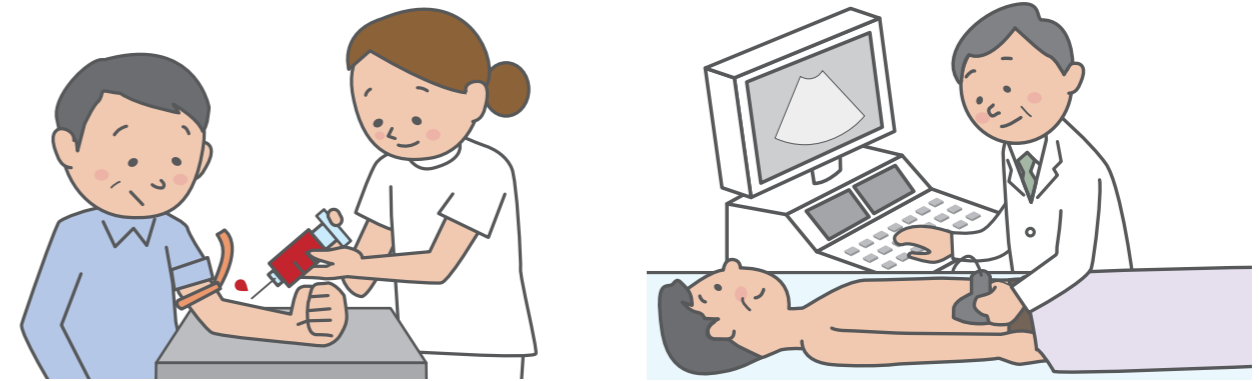
服用期間は2ヵ月*。副作用はほとんどありません。

服用中は禁酒すること以外、とくに生活を変える必要はありません。身体への負担はほとんどありません。* 病状によっては、服用期間が3ヵ月の場合もあります。

まず、精密検査で 肝臓の現在の状態を調べましょう。

■ ウイルス量検査(採血自体は1~2分)
血液中の肝炎ウイルス量や型を調べます。

■ 超音波検査(検査時間:約20分)
超音波で肝臓の状態を調べます。



結果を踏まえて、あなたにもっとも適した
方針を提案します。

治療費用(2ヵ月)
500万円 → 助成利用で **2万円に!**

今なら、助成制度が利用できます。

抗ウイルス薬の治療費用にも、ウイルス排除後の検査費用にも。

治療費用助成	自己負担額	1~2万円/月*
定期検査費用助成	自己負担額	2~3千円/年2回(国様式の場合)*
	助成上限額	5千円/年2回(県様式の場合)*

* 世帯全員の市民税(所得割)課税年額、また病状によります。
治療費助成を受けるためには、県が指定した医師の診断書が必要です。